

校長だより【57】「八月の歌」短歌コンクールで入賞！ 020803



平和への思いを詠んだ短歌コンクール「八月の歌」（朝日新聞社主催）の優秀賞 10 首と奨励賞 45 首が発表されました。12 回目を迎える今年度は、一般の部に 771 首、中学・高校の部に 885 首の合わせて 1656 首の応募があったそうです。フランスで平和活動に取り組む歌人、美帆シボさんが選考しました。

高校・中学の部での優秀賞は 5 作、奨励賞は 30 作ありましたが、そのうち奨励賞の 3 作に本校の 3 年生が国語現代文の授業で取り組んだ作品が選ばれました。臨時休業中の Google Classroom での自宅学習課題として、木目田教諭の指導のもと取り組んだもので、本校から合計 166 人による 208 首の短歌を応募していました。以下が栄えある奨励賞入賞の 3 作です。

❁ 海原の 声こそ消えね 琉球の 風に流れし 名も無き命

3年C組 河崎 諒人さん

❁ 名ばかりの 令和をつくる 私たち 名を越えるのも 私たちなり

3年B組 國光 亜弥さん

❁ 先人に ありがとうと 伝えたい 平和な日常 創る9条

3年A組 斎藤いずみさん

17、8 歳にして、100 年に一度の難局の渦中において、平和の尊さに思いを致し、このような立派な短歌を詠んでくれたことが、まことに誇らしい限り。選にもれた他の多くの生徒も含め、戦争を知らない若人たちの真摯な挑戦に、心からの敬意を表したいです。

生徒はあまり意識していないと思いますが、本校の歴史にも戦争は確かにありました。厚木高女学徒勤労働員の記「阿夫利嶺にこだまして」（平成 12 年青葉会発行）に、戦争をくぐり抜けた乙女たちの記録が残されています。



平成 12 (2000) 年 県立厚木高等女学校同期会「青葉会」発行



写真と手記にさまざまな思いが綴られている

先人にありがとうと伝えた
平和な日常創る 九条 いずみ

奨励賞 73期生 3A 斎藤 いずみ

名ばかりの令和をつくる私たち
名を越えるのも私たちなり 亜弥

奨励賞 73期生 3B 國光 亜弥

海原の声こそ消えぬ琉球の
風に流れし名も無き命 諒人

奨励賞 73期生 3C 河崎 諒人

指導 木目田 美咲教諭 ☆ 筆 河合 聖教諭